

理念経営物語

理念経営成功例 No.3

【本質に戻る】

ある朝の朝礼で、A社長は言いました。「近年、皆さんの努力のお陰で業績は伸び、毎年売り上げも利益も上昇してきました。しかし、私が日々みなさんに伝えている**本質**とはいったいなんなのか、皆さんは常に考えていますか？企業というものは業績を伸ばせば伸ばすほど、表面に出てくる物や業績に意識を取られるようになって行きます。しかし、その**業績はなにによって成り立っているのか**を考えなければ、業績の伸びはいつのまにか止まってしまいます。つまり衰退するということです。業績を伸ばすために一番重要なことは「本質」です。というより本質なくして企業経営は成立しません。そして、本質とは「**人間の本質**」です。その人間の本質を外さない限り、企業経営は安泰です。つまり人間の本質に合った「物づくり」や「販売」をしていれば、企業経営は安泰であるということです。しかし、文明の進化と共に人間の本質よりも、その本質から生まれた“物”や“技術”などが重要であるような考え方が蔓延し、それが生まれた理由や意味などを考えるよりも**使い方**を考える人が増え、人と人の触れ合いは希薄になり、悪い意味での個人主義が目立っている。私が今、皆さんに言いたいことがどういうことなのか分かりますか？我社も皆さんも同時に、常に安定成長していくためには、常に本質に戻ることが最重要であるということです。それはつまり皆さんが人間を理解することです。その理解力によって業績が左右されるということです。皆さん、今まで我社が成長して来たのは、皆さんが意識していなくても、皆さんが我社の理念「**人間尊重**」を大切に思って行動してくれた結果なのです。それは、人間を理解しようとする姿勢と同時に、人間を（他人を）大切に思う皆さんの自然な気持ちの結果であるということです。それを忘れないで下さい。」と。A社長は言います「**どんなに良い組織を創っても、人は忘れる動物。常に言い続けることが大切**」と。

解説

人間は誰でも本質を持っていますが、常に本質から物事を考えなくても成長はします。しかし、本質からの成長は真の成長であり、真の喜びを生み出すものです。**企業組織は本質的成長をする社員の集まり**であってほしいものです。

理念経営論とは、

根本にある理念に基づき、ビジョンに向かい、木（企業組織）は成長していく。それが理念経営論です。

根をしっかりと伸ばすことで、木は成長します。

理念経営論は、

①**本質的経営＝理念創造・実現経営**

②**夢実現経営＝ビジョン創造・実現経営**

③**実践的経営＝全社員自立・実行経営**

以上、3つの柱から出来ています。

